学校番号	416

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校日本史Ｂ新訂版（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2年生では原始・古代から江戸時代までの歴史を扱う。地理・公民・特別活動との連携を図り，東アジアをはじめとする国際環境の変化を重視しつつ,広い視野に立って多面的･多角的に歴史的事象を考察する。またその時々の社会の変化や政治的な動きが現在とどのようにつながっているのか、しっかりつかんでほしい。なお，学習を進めるに当たり、自ら学び・まとめる作業や学びあいを重視する。今起こっているコロナウイルスによるパンデミックなどに関連し、過去の事例に学ぶべきものにも注目する。

2　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ，我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め､意欲的に追究し､国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する市民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を､国際環境と関連付けて総合的に理解し､その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	旧石器・縄文時代	・日本列島と日本人の形成 ・旧石器時代・縄文時代の人々の生活	○		○		a, c:日本列島における旧石器文化・縄文文化の形成を自然環境や大陸からの影響を資料からとらえ、関心をもてる。	定期考査 プリント提出
	弥生時代	・弥生時代の人々の生活 ・小国の成立（邪馬台国連合）		○	○	○	b, c:水稲耕作や金属器の伝来が日本列島の社会に与えた影響を発掘調査の成果から考察できる。 d:農耕の発展によって村を越えた地域的な権力（邪馬台国など）が形成されたことを理解する。	定期考査 プリント提出
	古墳時代	・古墳時代の人々の生活とヤマト政権の政治制度		○	○		b, c:各種の資料を分析し，ヤマト政権の発展や対外関係について多面的に考察できる。	定期考査 プリント提出
	飛鳥時代	・東アジア諸国との交渉と大陸文化の受容 ・大化の改新と律令国家への道	○	○		○	a:渡来人のもたらしたものが現在の日本文化の基層にあることに関心をもてる。 b, d:大化の改新以降の政治過程を律令制の形成を中心に，東アジア情勢を踏まえて多面的に考察し，理解できる。	定期考査 プリント提出
	奈良時代	・遣唐使と平城京遷都 ・藤原氏の進出と政界の動揺 ・民衆と土地政策	○	○ ○		○ ○	b, d:政治史の流れを理解し，諸勢力対立の原因について考察できる。 a:律令制の下での民衆の暮らしについて関心をもつ。	定期考査 プリント提出
	平安時代①	・天平文化と国家仏教の展開 ・平安京の確立と蝦夷との戦い ・平安初期の政治改革と地方 ・貴族社会の変貌		○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	b:仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察できる。 b, c, d:平安初期の政治とその後の律令体制の変質について，蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて資料をよみとり考察し，理解できる。	定期考査 プリント提出
	平安時代②	・摂関政治 ・国司の地方支配と荘園の発達 ・地方の反乱と武士の成長 ・国風文化	○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	b, c, d:藤原北家の発展過程，公領の変質や荘園拡大など律令体制の変容などについて資料に基づき考察し，理解できる。 a:日本特有の文化の生成に関心をもてる。	定期考査 プリント提出
	平安時代③	・院政の開始と平氏政権。 ・院政期の文化	○	○		○	b, d:院政期における武士の影響力の拡大や平氏政権の展開について考察し，理解できる。 a:文化が庶民や地方に広がった事に関心をもてる。	定期考査 プリント提出
	鎌倉時代①	・源平の争乱と鎌倉幕府の成立 ・執権政治		○ ○	○	○ ○	b, d:源平の争乱から鎌倉幕府成立までの歴史過程，御家人制度，鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造などについて，多角的に考察し，理解できる。 b, c, d:北条氏が台頭し，執権政治を確立していく過程や執権政治の特質について，史料をもとに考察し，理解できる。	定期考査 プリント提出

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
二学期	鎌倉時代②	・蒙古襲来 ・得宗専制 ・鎌倉文化	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	d:元寇や得宗専制政治の展開を，国際情勢を踏まえて，理解できる。a, b, c:御家人の窮乏について関心をもち，永仁の徳政令の発布などを取り上げて考察できる。 a:鎌倉新仏教など，鎌倉文化に関心をもてる。	定期考査 プリント提出
	室町時代①	・鎌倉幕府の滅亡 ・室町幕府の成立 ・南北朝の動乱	○ ○		○ ○	○	a, c:鎌倉幕府の滅亡，建武の新政について，資料に基づき武士や農民の動向に関心をもてる。 d:南北朝の動乱のなかで日本列島の社会の変質や，足利義満の展開した内政・外交上のさまざまな取り組みを理解できる。	定期考査 プリント提出
	室町時代②	・土一揆の形成 ・応仁の乱 ・農業・商工業の発展	○	○	○	○	b, c:資料に基づき、一揆がどのように形成され，なぜ広まり，どのような構造を持っているか，考察できる。 d:応仁の乱の展開・影響について理解できる。 a:室町時代の農業・商工業の発展で人々の暮らしが変容したことに関心をもてる。	定期考査 プリント提出
	戦国時代①	下克上の風潮 戦国大名 ヨーロッパ人の東アジアへの進出	○	○		○	a, d:領国統治を強化して富国強兵策を推進した戦国大名に，関心をもち知識を深める。 b:鉄砲やキリスト教の伝来，南蛮貿易の展開を踏まえてヨーロッパ世界との接触とその影響について考察できる。	定期考査 プリント提出
	戦国時代②	織豊政権の特色と意義 大名、都市、町衆の生活 桃山文化	○	○	○	○	d:織田信長の人物像や統一事業の流れについて理解できる。 b, c:資料をよみとり，豊臣秀吉による統一過程と政策の影響について考察できる。 a, 桃山文化が幅広い国際性を持ちつつ，生活文化のなかにとけ込んでいったことに，関心をもてる。	定期考査 プリント提出
三学期	江戸時代①	幕藩体制のしくみ 封建的身分秩序		○	○	○	d:幕藩体制の特質を理解できる。 b, c: 幕藩権力が百姓に対しどのような支配をおこなったか，史料から読み取り，考察することができる。	定期考査 プリント提出

	江戸時代②	経済の発展と町人の台頭 元禄文化 文治政治	 ○ 	 ○		○ ○	d: 農業生産の進展、産業の発達と多様化，交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達，都市の経済的繁栄などから，諸産業の展開を理解できる。 a: 上方の豪商を中心に町人たちに担われた元禄文化に関心をもてる。 b, d:文治政治の政策の特徴を理解できる。また，幕府財政悪化の要因と影響について考察できる。	定期考査 プリント提出
	江戸時代③	享保の改革 田沼意次の政治 寛政の改革 化政文化 天保の改革	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ 	d:幕府・諸藩の経済的窮乏などに着目して，享保の改革の諸政策を理解できる。 b, c, d: 商品経済の発展に敏感に対応した田沼意次の政治について，具体的政策を資料に基づき考察するとともに，それが挫折していく過程について考察し，理解できる。 b: 松平定信は，諸課題に対し，どのように対応しようとしたのか，考察できる。 a: 江戸を中心に発展した化政文化に関心をもてる。 b:大塩平八郎の乱の背景としての社会的矛盾と乱の影響について考察できる。	定期考査 プリント提出

※　表中の観点について

a: 関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。